

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団
 団長 渡辺 敏 光
 電話・fax 31-6431
w-toshi@agate.plala.or.jp
 松本 敏 子
 電話・fax 59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談
 今回は 3月8日(土)
 午後1時 (要予約)

日本共産党平塚市議会議員団
 電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.967 2008年2月24日発行

平塚市議会3月定例会 2008年度予算審議始まる

共産党議員団は3月補正予算案に反対を表明

2月18日から始まった3月定例会では、初日に今議会に提出された一般会計・特別会計補正予算案についての説明があり、その場で表決が行われました。

日本共産党議員団は、「後期高齢者医療制度」は、高齢者を年齢で分けて、医療に差をつける上に今後更なる負担を強いるものであり、この制度の撤回を求めています。補正予算案では、新年度から導入するとしながらも準備が整わず、繰越明許にするというもので受け入れることはできないとして反対しました。

その後、大蔵市長からは新年度予算に対する「市政方針」が述べられました。

今議会では、報告1案件、条例に関する議案12案件、平成20年度予算に関する議案11案件が審議されます。

松本敏子議員の質問は3月3日の午前となります。

2. 総括質問

月日	質問順	議員名	会派名等	時間
3月3日(月)	10	端 文昭	市民派の会	30分
	11	松本 敏子	日本共産党平塚市議会議員団	30分
	12	江口 友子	無所属	15分
	13	高橋 紀英	無所属	15分
	14	厚見 利子	無所属	15分

上程された議案の中から主な条例改正の内容をお知らせします。

議案 第9号 平塚市職員の自己啓発等休業に関する条例

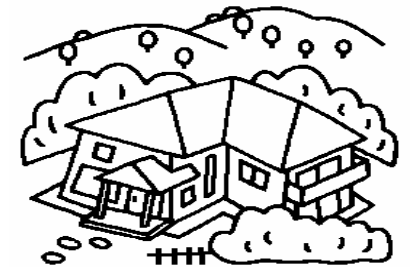
＝地方公務員法の規定に基づき、公務の運営に支障がなく、職員の公務に関する能力の向上を資すると認めるときは、自己啓発等休業をし大学・大学院での履修または開発途上地域における奉仕活動等を承認するというもの＝

議案 第10号 平塚市後期高齢者医療に関する条例

＝後期高齢者医療制度で本市が行う事務や、被保険者、保険料の納期、延滞金、罰則等を定める条例＝

議案 第11号 平塚市地区計画建築物条例

＝建築基準法に基づき建築物の用途や容積率、建ぺい率、建物の高さ、形態、柵の構造などに制限を加え、健全な都市環境を確保することを目的とする＝



議案 第14号 平塚市特別会計条例の一部を改正する条例

＝後期高齢者医療事業が特別会計に加わるための条例＝

議案 第16号 平塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例

＝国保・老人保健法の一部改正に伴い、葬祭費を重複して支給しないため等により、規定を整備するもの＝



議案 第17号 平塚市国民健康保険税条例の

一部を改正する条例

＝後期高齢者医療制度の創設に伴い、保険税率や軽減措置の改定、資産割の廃止等を行うための改正＝

議案 第18号 平塚市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

＝介護保険料の激変緩和措置が平成18・19年までだったものを、20年度まで延長するための改正＝

上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

高校進学のための奨学金制度

行政区	申込時期	申込先	金額	所得制限	返還の必要	他の制度との併用
平塚市	中学校在学中に申請 定員40人(H20年度は41人)	中学校	月額10,500円	有り	無し	他の制度との併用も可。
厚木市	高校入学後 広報で4月15日以降通知 最終〆切は5月31日	教育総務課	公立全日 月額10,000円	有り	無し	他の制度との併用も可能
			公立定時 月額4,000円			
			私立・専門(高) 月額15,000円			
			通信 月額1,000円			
二宮町	在学中 3月24日〆切	中学校	月額10,000円	有り	無し	他の制度との併用も可能
愛川町	在学中に学校に申込 最終〆切は5月末	中学校	年間115,000円	有り	無し	他の制度との併用は不可
清川村	5月1日~5月31日まで	教育委員会	月額9,600円	有り	無し	他の制度との併用は不可 (私立の場合は窓口で相談) 通学補助金制度有り

県の奨学金制度の活用もできます。

★母子家庭の場合・・・各市町村の福祉事務所へ。

↓ 以下は、高校入学後、学校を通じて申し込み。

詳しくは、県教育委員会にお問い合わせを。
神奈川県庁(代表) 045-210-1111

★ 私立高校の場合

* 私立学校等生徒学費補助金

★ 県立高校の授業料免除制度

* 所定の金額の全額又は半額が免除

★ 神奈川県高等学校奨学金(返済必要あり)

* 公立自宅通学(20,000円)

* 公立自宅外通学(25,000円)

* 私立(40,000円)

- ★ 伊勢原市・大磯町には行政独自の制度がないため、県の制度を利用しています。
- ★ 秦野市では、交通遺児・労働災害遺児のみに対象が限定されています。

大企業がバブル期の1.8倍の利益をあげる一方で、雇用のルールが壊され、サラリーマンの給与は九年連続減り続けています。こんな時こそ、各自治体や県が行っている高校入学・進学のための「奨学金制度」を活用して、子供たちが安心して学業に専念できる環境を整えてあげたいですね。

「15の春を泣かせるな」は今も・・・

ところが、平塚市の奨学金制度には定員があるため、申し込んだ生徒全員が受けることができません。40人という枠に対し(今年は寄付金によって41人)、90人からの申し込みがあり、申請したのに外れ落胆する生徒のほうが多いのが現状です。誰もが安心して高校へ行けるために、制度の拡充が求められています。

投機マネーのあおり 農家は重油の値上げ で大赤字!

投機マネーがどうなるのか
我々の関係がどうなるのか...

現在、重油は5〜6年前の2倍近くになっています。
市内でバラを栽培している園芸農家では、ハウスの温度を17度から18度に保つため暖房は欠かせないといっています。
月に4千ℓ入りのタンクを4本使います。
ℓ当たり80円、重油だけで月に百万円をゆうに超えてしまいます。しかし、「負担増分を価格に転嫁したくても、花の値段を上げれば買い手がつかない。すると、とたんに輸入物を入れてくるから、値段はそう上げられない。」とのこと。そのため、出荷した分は燃料代も追いつかず、肥料代もパートさんの賃金もでない。やむを得ず、全体の半分の苗は枝を切って休ませ、燃料代の出費を抑えているのが現状だと語ります。



「重油が値上がりしても、イチゴの値段に乗せするわけには行かないので赤字だ。」
農業はもともと赤字経営で、やればやるほど赤字になっていく。いい仕事があれば今すぐ廃業したいとも思っている。行政は農業のことなんてまったく考えてくれない」と語るイチゴ農家。
夜間でも、イチゴは7〜8℃、トマトは12〜13℃、キュウリは13〜15℃を保たなくてはいけない。だから、多くのキュウリ農家は採算が合わないから今の時期はつくらないといっています。花ものは特に温度が重要で、夜間の温度が1℃低くても花が咲くのに3日遅れるといっています。
投機マネーで、国民が必要な商品までころがして値段を釣り上げて儲ける者たちのために、「貧困と格差」の冷たい波が平塚の地にもひたひたと押し寄せています。